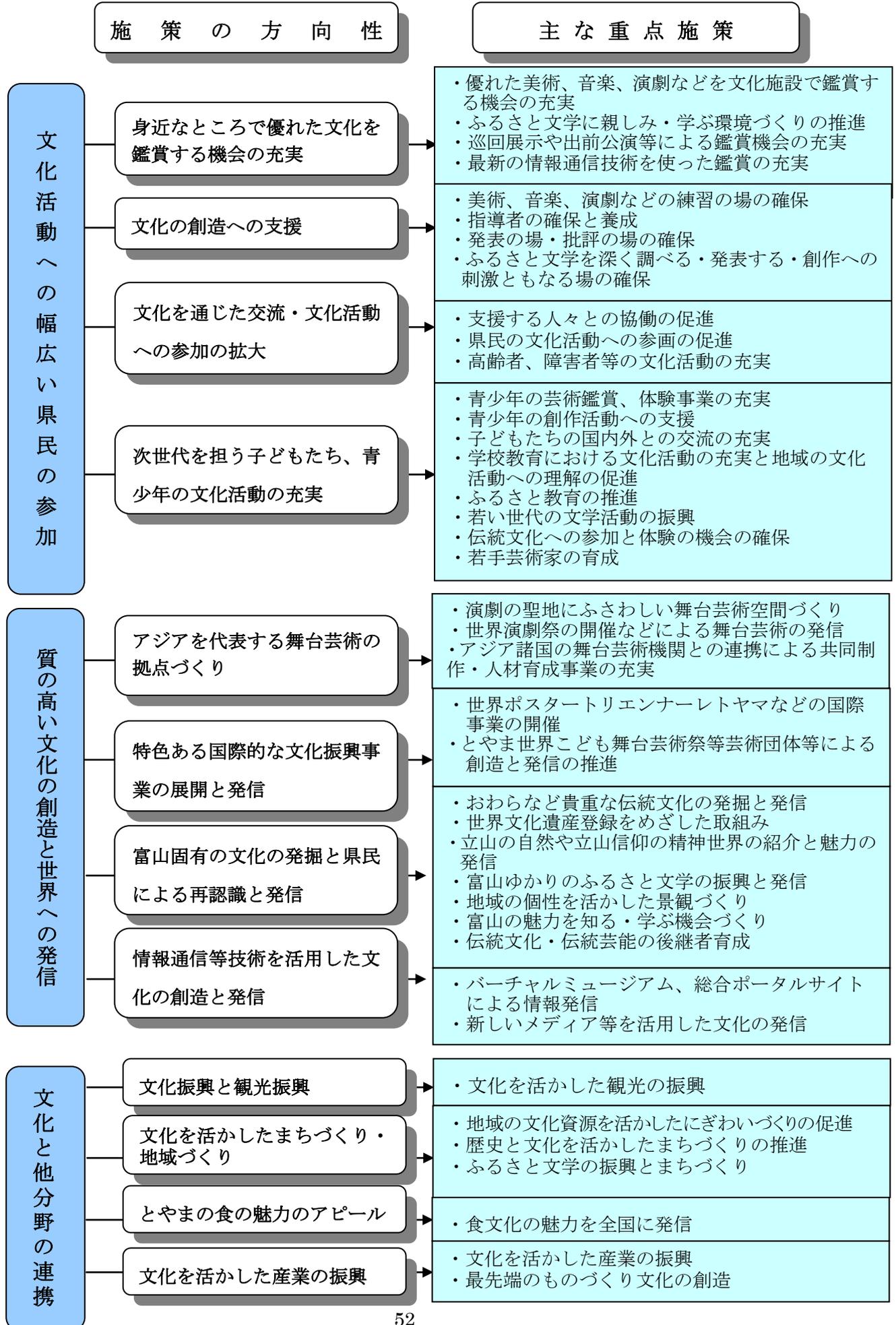


# 第4 施策体系



## 第5 主な重点施策

### 1 文化活動への幅広い県民の参加

#### (1) 身近なところで優れた文化を鑑賞する機会の充実

○身近なところで、文化を楽しみ、文化に感動し、文化を通じて人と人との心の通う交流を行う機会を増やす。

#### ア 優れた美術、音楽、演劇などを文化施設で鑑賞する機会の充実

##### (県民の鑑賞機会の充実)

- ・文化施設それぞれの開設目的や、施設の特性を反映した多彩で個性的な自主文化事業を推進する。
- ・美術館・博物館等における開館時間の延長など施設の利便性の向上を図る。
- ・美術館・博物館等の案内パンフレットや展示の多言語解説の充実を図る。
- ・県民会館・美術館の施設や機能の充実、自主事業の拡充などによる文化活動の場の活性化を検討する。
- ・県民会館・美術館の耐震化・防災対策等を推進する。
- ・県立図書館では、貴重書等の電子化の推進を図るとともに、ホームページの充実や広報誌への掲載などにより、利用者の利便性向上に努めていく。

<主な事業> (平成24年度現在で取組みを推進しているもの。以下同じ。)

事業	内容
県立文化ホール企画事業	県立ホールが企画実施する公演等
美術館・博物館等展覧会事業	企画展等の開催
図書館の利便性向上	県立図書館における貴重文書の電子化、情報プラザの運営等
こどもドリーム・アカデミー	地域の多彩な子どもの芸術文化活動や一流音楽家による小学校での出前コンサートを支援

##### (施設の企画運営能力の向上)

- ・公演や展覧会を企画運営するために必要な専門知識や熱意を持つスタッフを養成する。
- ・指定管理者制度のもと、民間の知恵を活用し、質の高いサービスの提供と運営の効率化を図るとともに企画運営のレベルアップを図る。
- ・芸術文化の目利きとして豊かな経験があるスーパーバイザーを設置し、専門家

の知恵の活用により文化施設において特色ある活動が行われることを促進する。

<主な事業>

事業	内容
公立文化施設協議会による舞台技術研修	業務管理技術研究、文化施設職員研修、舞台技術講習会等
指定管理者制度の導入	県立文化ホール、美術館・博物館への指定管理者制度の導入

(施設のネットワークの活用)

- ・県内外の文化ホールのネットワークを通じた共同企画事業の実施、情報の発信、専門職員の交流、情報交換や連携等による文化活動の拠点機能の向上を図り、すぐれた文化に触れる環境づくりを推進する。
- ・博物館等のネットワークを活用した広報や、収蔵品の交流による魅力ある展示の充実を図る。
- ・本県の広域連携先との文化事業の連携を強化し、県立文化施設が保有する所蔵品の相互貸借等を行うなど、魅力ある展示の充実を図る。

<主な事業>

事業	内容
美術館・博物館トータルネットワーク推進事業	博物館協会が行う県内美術館・博物館の連係及び情報化に対する補助

イ ふるさと文学に親しみ・学ぶ環境づくりの推進

- ・平成24年7月に開館する高志の国文学館において、あらゆる世代の県民に、越中万葉から近・現代までの小説、短歌、詩などの文学や、映画、マンガ、アニメなど、ふるさと文学の魅力を幅広く紹介する。
- ・県民の財産となる貴重なふるさと文学資料の散逸を防ぎ、これを次の世代に伝えていくため高志の国文学館において収集、保管に努めるとともに、その資料を企画展等で公開・展示し県民に広く紹介することにより、さらにふるさと文学への関心を高める。

<主な事業>

事業名	内容
高志の国文学館整備事業	文学館工事、企画展準備など
高志の国文学館管理運営事業	高志の国文学館の管理運営
高志の国文学わくわく学楽魅力推進事業	ふるさと文学資料の散逸を防ぐとともに、県民がふるさと文学に親しみ、学ぶ機会の提供等の事業を実施
高校生ふるさと文学モデル教材作成活用事業	ふるさと文学モデル教材の作成、教員研修会の開催

## ウ 巡回展示や出前公演等による鑑賞機会の充実

- ・学校や福祉施設、公民館など身近なところでの優れた美術作品の巡回展示や出前公演を支援する。
- ・出前公演や学校一日美術館など、アウトリーチ事業を通じて、ホールや美術館へ足を運んでもらうための普及事業を推進する。
- ・初心者向けの分かりやすい体験型の出前講座や親子で楽しむ解説付きの講座の開催、子どもが芸術に触れることのできるキッズコーナーの設置などを促進する。

### <主な事業>

事業	内容
芸術文化の鑑賞・子ども支援事業	学校や公民館等への出前公演の開催に対する補助
とやまの芸術家ふれあい公演事業	芸術文化団体による子ども、障害者等のための公演
近代美術館館外展示・教育普及事業	ふるさとギャラリー（ふるさとパレス内）における展示や学校一日美術館の開催等

## エ 最新の情報通信技術を使った鑑賞の充実

- ・全県で利用可能なケーブルテレビや高速インターネット、FM放送等を活用した公演・展示等の放送や、「とやま学遊ネット」、映像センターの活用による文化事業の普及広報、インターネット市民塾の活用等を進めることにより、県民が文化鑑賞などの活動を行う環境を充実する。
- ・バーチャルミュージアムなど情報通信技術を活用した映像などの文化情報の発信について、美術の画像にとどまらず、映像や音楽など、富山の芸術文化全般にわたり提供していく。併せて、著作権に関する課題に対応する。
- ・インターネットやケーブルテレビ等を活用し、文化施設の催事、活動のPRを充実する。

### <主な事業>

事業	内容
生涯学習情報提供ネットワーク（とやま学遊ネット）事業	県民生涯学習カレッジ、県立図書館、市町村等をインターネットで結び、生涯学習情報を提供
県公立文化施設協議会、県博物館協会による情報提供	インターネットによる情報提供の実施
美術館・博物館トータルネットワーク推進事業	博物館協会が行う県内美術館・博物館の連係及び情報化に対する補助

## (2) 文化の創造への支援

○地域や文化施設で県民が多彩に活動する場を確保し、県民が参加し創作する活動への指導と批評の機会を確保する。

### ア 美術、音楽、演劇などの練習の場の確保

- ・施設の練習専用利用のための利用時間の延長や使用料の減額などを行う。
- ・文化団体や地域の団体が練習から発表まで、ホールの支援を受けながら継続的に利用できるフランチャイズ制などに準じた支援を通じた文化団体に対する一貫継続した支援システムを確立する。
- ・ホールの指定管理者が地域の文化の担い手の活動を支援する取組みを推進する。
- ・市町村合併等により複数館となった文化ホールの位置づけを広域的に見直し、住民の練習の場等としての活用の取組みを推進する。
- ・地域の余裕施設、空きスペースを練習に活用する取組みを推進する。

#### <主な事業>

事業	内容
県立文化ホールの開館時間延長	県立文化ホール全館について午前9時から午後10時まで開館
県立文化ホールの練習利用に係る使用料の減額	利用が予定されていない日の空きホールを芸術文化活動の練習等に利用する場合に、使用料7割減免
地域文化力向上・活性化支援事業	福光 IOX-AROSA 声楽サマー・セミナー開催補助

### イ 指導者の確保と養成

- ・芸術文化指導者招へい事業により、国内外の優れた講師による指導で、舞台芸術分野の発表の成果も上がっているため、引き続き支援する。
- ・芸術文化アドバイザー制を活用して、地域の活動に対する指導の充実を図る。

#### <主な事業>

事業	内容
芸術文化指導者招へい事業	音楽分野・舞台芸術分野の第一人者によるアマチュア芸術文化団体の指導
芸術文化を担う人づくりアドバイザー事業	専門家（芸術文化アドバイザー）を学校や地域に派遣し子どもや指導者への助言・指導

## ウ 発表の場・批評の場の確保

- ・ 県内芸術家・団体が分野・会派を超えて発表する県民芸術文化祭や、県内美術家の優秀作品を奨励し新たな美術家を発掘する県美術展の開催を支援する。
- ・ 県内新進芸術家による公演や県在住・出身の新進芸術家を奨励するコンクールの開催を支援するほか、新進芸術家をリストアップし、県民に紹介することによる活動の奨励と県内文化ホールなどでの新進芸術家の発表機会の拡充を図る。
- ・ 合評会、交流会等芸術家、芸術団体が相互の交流の場をつくり、相互に批評することを促進する。
- ・ 文芸資料等の収集、展示等において、図書館、既存施設の活用を促進する。
- ・ 文化活動を行う人々や団体のための交流の拠点の確保を促進する。
- ・ 県民の旺盛な創作活動を評価し、顕彰する機会を設ける。
- ・ 文化ホール等の無料スペース等を活用した発表の場の確保、専門家による指導・批評の場の確保などにより技術の向上を支援する。

### <主な事業>

事業	内容
県民芸術文化祭の開催	国民文化祭の成果を継承し、発展するフェスティバルとして開催
富山県美術展（県展）の開催	県展（日本画、洋画、彫刻、工芸など6部門で公募、審査、展示）に対する支援
美の祭典 越中アートフェスタの開催	女性美術展、勤労者美術展を発展させた新たな美術公募展の開催
新人演奏会補助	県内の新人演奏家の紹介
国民文化祭参加費	芸術文化団体への国民文化祭への参加奨励金
とやま文学（賞・刊行）費補助	文学に関する気鋭の新人のすぐれた創作活動を選奨するとともに、総合文芸誌「とやま文学」を発刊
県立文化ホールの練習利用に係る使用料の減額（再掲）	利用が予定のない日の空きホールを芸術文化活動の練習等に利用する場合に、使用料を7割減免

## エ ふるさと文学を深く調べる・発表する・創作への刺激ともなる場の確保

- ・ 高志の国文学館では、ふるさと文学資料に容易にアクセスできるようデータベース化を進める。
- ・ 高志の国文学館では、文学のみならず幅広い文化活動の発表・交流の場を提供する。

### <主な事業>

事業	内容
高志の国文学館整備事業（再掲）	文学館工事、企画展準備など
高志の国文学館管理運営費（再掲）	高志の国文学館の管理運営

高志の国文学情景作品募集 事業	ふるさとの文学をモチーフに、文芸、美術、写真等の作品を中 学生・高校生から募集し、コンクールを実施
--------------------	--

### (3) 文化を通じた交流・文化活動への参加の拡大

○文化を支える人材を育成し、NPOなど民間団体との協働を推進するとともに、文化の力による福祉の充実に努める。

#### ア 支援する人々との協働の促進

- ・青年層が創造性を発揮していきいきと活動し、中高年層が知識、経験を活かして活躍するよう、文化ボランティアを養成する。
- ・文化施設において、友の会等、サポーター組織との連携、NPOとの協働、企業メセナの活用による事業の企画、運営の推進の取組みを強化する。
- ・富山県芸術文化協会など文化団体との協働による事業の企画運営を推進する。
- ・「新しい公共」を担う文化活動に取り組むNPO等の主体的な取組みの拡大と定着を図るための人材育成など自立的活動を支援する。
- ・NPOなどの民間団体が文化支援、文化と他分野との連携に取り組む事業を支援するとともに、文化活動と、他分野の活動をコーディネートする人材の育成を図る。

#### <主な事業>

事業	内容
文化ボランティア養成事業	文化ホールの企画運営を支援する文化ボランティアの養成
いきいき文化財博士ネットワーク事業	文化財ボランティアの活動活性化や連携強化を図る研修会等の実施
企業メセナ文化ホール事業	文化ホールが企業と連携して実施する芸術文化事業に対する補助
文化と他分野の連携推進事業	文化活動と、観光・まちづくり等他分野の活動とのマッチングを行い、より魅力ある地域活性化活動を促進

#### イ 県民の文化活動への参画の促進

- ・新川学びの森天神山交流館での「学びの森音楽祭」など地域と密着した事業を支援し、文化ホールネットワーク事業や自主文化事業への県民の参画を推進する。
- ・地域の人々が核となった施設の利用、活用のための委員会を設置すること等を通じ、地域の人々の知恵の活用を促進する。
- ・県民又はそのグループが自ら企画し、運営する文化事業を促進する。
- ・インターネットなどのコミュニケーションツールの活用により文化交流と地域間の連携を図る。

<主な事業>

事業	内容
内山邸文化の魅力再生事業	内山邸の計画的な保存修繕とともに魅力あるイベントの開催など魅力発信事業の実施
いきいき文化財博士ネットワーク事業(再掲)	文化財ボランティアの活動活性化や連携強化を図る研修会等の実施
高志の国文学わくわく学楽魅力推進事業(再掲)	ふるさと文学資料の散逸を防ぐとともに、県民がふるさと文学に親しみ、学ぶ機会の提供等の事業を実施

## ウ 高齢者、障害者等の文化活動の充実

- ・ 高齢者、障害者、子育て中の保護者など誰もが身近に文化に触れやすい環境を整備する。
- ・ 障害者文化育成事業を通じて、文化団体との連携・交流を促進する。
- ・ 障害者の文化活動の場の整備や、文化芸術に関する情報提供、障害者の主体的な文化活動の支援等に努める。
- ・ 高齢者向け出前公演や手で触る彫刻展など参加・体験型の文化活動を促進する。
- ・ 高齢者、障害者等の文化活動をサポートする人々の活動を促進する。

<主な事業>

事業	内容
子どもと障害者の美術館観覧料等の無料化	美術館等の県立文化施設における児童生徒と障害者の観覧料等の通年無料化
臨時保育室設置事業	県又は文化振興財団が主催するコンサート等が行われる施設内での臨時保育室の設置
富山ねんりん美術展の開催	高齢者の芸術活動を促進し、交流の場としての美術展を開催
障害者文化芸術育成支援事業	障害者の社会参加の推進を図るため、その文化芸術活動の普及、育成のための有効な場を提供
シニアタレント社会活動事業	文化活動に豊富な経験、技能等を持つ高齢者の発掘・養成事業に対する補助

## (4) 次世代を担う子どもたち、青少年の文化活動の充実

○次世代を担う子どもたちの豊かな人間性と多彩な個性を育むため、子どもたちが本物の文化に触れ、文化活動に参加し、文化を通じて人と出会い、交流し、一緒に力を合わせるなどかけがえのない体験をする機会をつくる。

### ア 青少年の芸術鑑賞、体験事業の充実

- ・ 青少年を対象とした本物の芸術鑑賞の機会を拡充し、学校や地域での優れた美術作品の巡回展示、文化ホールからの出前公演、子ども自身が参加する芸術の体験型事業、親子で楽しむ解説付きの講座などを開催する。
- ・ 美術館、博物館の通年無料化を活用した普及事業の開催を促進する。

<主な事業>

事業	内容
学校巡回劇場の開催	小・中学生を対象とした舞台芸術公演の鑑賞機会の提供（日本青少年文化センターとの共催）
芸術文化の鑑賞・子ども支援事業（再掲）	学校や公民館等への出前公演の開催に対する補助
子どもと障害者の美術館観覧料等の無料化（再掲）	美術館等の県立文化施設における児童生徒と障害者の観覧料等の通年無料化
学校一日美術館	近代美術館の収蔵品の一部を学校において展示公開し、広く児童生徒に美術品に親しむ機会を提供
私立幼稚園振興対策補助	私立幼稚園における児童劇の巡回公演に対する補助

## イ 青少年の創作活動への支援

- ・青少年が行う美術、文芸の創作、舞台発表など文化活動の発表機会を拡充するとともに、美術教室事業やこども文化活動を支援する。
- ・青少年の意欲的な芸術活動への働きかけと技術向上の指導を行うため、芸術の専門家をアドバイザーとして派遣するほか、スクールバンド育成事業などを開催する。

<主な事業>

事業	内容
県青少年美術展開催補助	青少年（中学生から 25 歳まで）を対象とした公募美術展の開催に対する補助
県こどもフェスティバル開催補助	児童文化活動者（団体）や子どもの創作活動を発表するフェスティバルへの補助
青少年音楽コンクール開催補助	青少年を対象とした音楽コンクールの開催に対する補助
ミュージアム創造広場事業	展示作品の模写の実施、鑑賞用教材の開発、アートワークショップの開催
水墨画ワークショップ	水墨美術館において幼児から中学生までが初めての水墨画に挑戦
芸術文化を担う人づくりアドバイザー事業（再掲）	専門家（芸術文化アドバイザー）を学校や地域に派遣し子どもや指導者への助言・指導
スクールバンド育成事業	吹奏楽部に属する中高校生を対象としたプロによる演奏技術指導
高志の国文学情景作品募集事業（再掲）	ふるさとの文学をモチーフに、文芸、美術、写真等の作品を中学生・高校生から募集し、コンクールを実施

## ウ 子どもたちの国内外との交流の充実

- ・世界こども舞台芸術祭、全日本地域選抜モダンダンス・ガラ・ジュニア、国際吹奏楽フェスティバルなどの国際大会など、子どもたちが文化交流する大会への参加促進や開催を通じて子どもたちの文化交流、国際交流の機会を拡充する。
- ・全国高等学校総合文化祭富山大会を開催し、全国的な規模での発表の場を提供し、芸術文化活動への参加意欲を高めるとともに、創造的な人間形成を図る。

<主な事業>

事業	内容
世界こども舞台芸術祭開催事業	「とやま世界こども舞台芸術祭」の開催支援
日中友好交流事業補助	芸術文化団体による国際交流事業
全国高等学校総合文化祭富山大会推進事業	平成 24 年 8 月に全国高等学校総合文化祭を開催。質の高い発表となるよう各部門の支援及びテレビ、新聞、パンフ等による広報の実施
全国大会出場者激励事業	本県を代表して全国的大会に参加する小・中・高校生に対する激励等
学習活動等全国大会成績優秀者褒賞	芸術、文化、科学等の学習活動で活躍している児童・生徒に対する顕彰の実施
とやま国際塾開催事業	県内の高校生と留学生との交流、国際協力、多文化共生の理解を深めるセミナーの開催

エ 学校教育における文化活動の充実と地域における文化活動への理解の促進

- ・学校教育における、美術館、博物館の利用と連携の取組みを促進する。
- ・総合的な学習の時間の活用を進めるとともに、芸術・伝統文化に関するカリキュラムの研究開発推進、教員研修の充実、学校や研修会への当該分野の講師派遣に努める。
- ・文化団体、文化施設、大学との連携を図るとともに、子どもたちが校外、地域における文化活動に参加することへの理解を促進する。

<主な事業>

事業	内容
高等学校文化祭開催補助	高等学校文化祭の開催に対する補助
中学校文化祭開催補助	中学校文化祭の開催に対する補助
スクールバンド育成事業(再掲)	吹奏楽部に属する中高校生を対象としたプロの演奏家による演奏技術指導
全国高等学校総合文化祭富山大会推進事業(再掲)	平成 24 年 8 月に全国高等学校総合文化祭を開催。質の高い発表となるよう各部門の支援及びテレビ、新聞、パンフ等による広報の実施
私立高校特色教育振興事業補助	私立高校の文化部等の活動に対する補助
県私学祭開催補助	県私学祭(創作活動、芸術文化活動の成果の発表)の開催に対する補助

オ ふるさと教育の推進

- ・富山の豊かで厳しい自然と風土に育まれたふるさとの歴史や産業、くらしの特徴等を学び、理解を深める機会の充実に努める。

- ・ふるさと富山を支えてきた人々の功績を紹介し、先人の生き方を学び、子どもたちが郷土への愛着や誇りを育めるよう取り組む。
- ・ふるさと富山をテーマとし、子どもから大人まで幅広く愛唱できる「ふるさとの歌」を制作するとともに、県民自身が郷土の魅力を再発見・再認識し、県内外にその魅力をPRする気運の醸成に努める。
- ・越中万葉や大伴家持を知り、学ぼうとするきっかけとするため、越中万葉を題材とする絵本や県内の万葉歌碑の分布・散策コースを紹介するマップを作成するほか、越中万葉に関するイベントや企画展の開催によりその魅力を全国に広く発信し、県外からの来訪を促進する。
- ・高校生を対象にした郷土史・日本史の補助教材作成により、日本の近現代史や郷土の歴史や文化等を学ぶ機会の充実に努める。
- ・ふるさと富山を題材にした英語教材の活用など、日本や郷土の歴史・文化の良さを理解し、世界に向けて発信する力を育成する教育を充実する。
- ・農業体験や学校給食での地場産食材の活用等の取組みを通し、地場産品や郷土の食文化への理解を促進する。
- ・ふるさと富山の自然の特色と、その下で起きた自然災害との闘いの歴史等について理解を深める機会の充実に努める。
- ・身近な地域で、歴史や文化を学び、親しむ機会を充実するため、地域におけるふるさと教育の拠点として、公民館の学習機能の充実に努める。
- ・越中富山を舞台に活躍した木曾義仲・巴御前を通して、ふるさとの魅力を再発見・再発信に取り組む。
- ・ふるさとづくり県民フォーラムの開催や団体等の表彰を行い、ふるさと教育の推進に努める。

<主な事業>

事業	内容
ふるさとの魅力再発見・PR事業	県民自身が郷土の魅力を再発見・再認識し、県内外にその魅力をPRする気運の醸成
ふるさと教育推進事業（再掲）	ふるさとづくり県民フォーラムの開催、団体等の表彰
夏休みふるさとの先駆者探求事業	自らのロールモデルを見出し、夢に向かってチャレンジする子どもたちを育成するため、県内の小学校高学年（5、6年生）を対象にした作文コンクールを実施
「ふるさとの歌」づくり事業	ふるさと富山をテーマとし、子どもから大人まで幅広く愛唱できる「ふるさとの歌」（仮称）の制作・普及
高校生郷土史・日本史学習試行事業	県立高校において、高校生向け郷土史・日本史の学習補助教材、教師用の指導の手引きの作成
ふるさと学びあい推進事業	地域でふるさとの学びを推進する指導者を養成するセミナーを開催し、作成した教材により、「ふるさととやま発見教室」をモデル的に実施

高校生とやま英語表現ハンドブック作成活用事業	高校生郷土史・日本史教材（「ふるさと富山」）を英語教材としてアレンジし、県立高校、英語教員、ALT へ配布
ふるさと砂防・防災体験伝承事業	立山カルデラの砂防体験学習及び安政大災害、常願寺川の砂防・防水対策を後世に継承するための事業を実施
「木曾義仲出世街道」再発見・再発信事業	越中富山を舞台に活躍した義仲・巴を通して、ふるさとの魅力を再発見する事業を実施
高校生ふるさと文学モデル教材作成活用事業（再掲）	ふるさと文学モデル教材の作成、教員研修会の開催

## カ 若い世代の文学活動の振興

- ・ふるさとの未来を担う若い世代が富山ゆかりのふるさと文学を通じて先人の優れた知恵や成果、県民が生まれ育ったふるさとの歴史や文化を再認識し、ふるさとの愛着や誇りを持ってもらう場として、高志の国文学館が積極的に活用されるよう努める。
- ・ふるさと文学を題材とした絵本や教材を作成するなど、子どもたちを対象として、ふるさと文学に親しむ機会を増やし、言葉や文学への関心を高めるための取組みを進める。

### <主な事業>

事業名	内容
高志の国文学館整備事業（再掲）	文学館工事、企画展準備など
高志の国文学館管理運営費（再掲）	高志の国文学館の管理運営
高志の国文学わくわく学楽魅力推進事業（再掲）	ふるさと文学資料の散逸を防ぐとともに、県民がふるさと文学に親しみ、学ぶ機会の提供等の事業を実施
高校生ふるさと文学モデル教材作成活用事業（再掲）	ふるさと文学モデル教材の作成、教員研修会の開催
高志の国文学情景作品募集事業（再掲）	ふるさと文学をモチーフに、文芸、美術、写真等の作品を中学生・高校生から募集し、コンクールを実施

## キ 伝統文化への参加と体験の機会の確保

- ・伝統芸能は、長い歴史と伝統の中から生まれ、守り伝えられてきた地域の財産であり、地域で子どもたちが将来にわたって継承し、発展が図られるよう、小さいときから地域に伝わる年中行事、伝統文化に参加したり、体験する取組みを進める。
- ・学校、地域において子どもが地域の伝統文化を体験する場の確保に努める。

<主な事業>

事業名	内容
ふるさと再発見事業	小学生を対象にした野外活動、創作活動などの体験学習に対する補助
特色ある遊び・体験活動促進事業	市町村と共同で行う特色ある創作活動、伝承文化活動等の促進（県民福祉事業団へ委託）
いきいき文化財博士ネットワーク事業（再掲）	文化財ボランティアの活動活性化や連携強化を図る研修会等の実施

## ク 若手芸術家の育成

- ・ 県民芸術文化祭において、若者を含め多くの県民の参加を促進する。
- ・ 県内の高校・大学と県立文化施設との連携等により、インターンシップ（就業体験）や協働事業等を実施する。
- ・ とやま世界こども舞台芸術祭や全国高等学校総合文化祭をはじめとする文化活動等へ、子どもや若者が参加する機会を充実し、次代の文化の担い手を育成する。
- ・ 文化ホールでの子どもたちの芸術文化の鑑賞・発表機会の確保や、小学校での出前コンサート開催により、子どもの多彩な芸術文化活動を支援する。
- ・ 県内の若手文化活動者が集い、多彩な分野の公演やワークショップ等を行うフェスティバル等を開催する。
- ・ 公立文化施設の主催事業において、県内出身の若手芸術家等の積極的な起用等を行う。
- ・ 文化ホール・美術館等において若手芸術家の発表の機会の提供等を行う。
- ・ 次代の舞台芸術を担う才能の発掘・支援のため、利賀演劇人コンクールを開催し、世界に通用する演劇人の育成を行うとともに、小中学生の参加による児童劇の創造、高校生への演劇指導等を行い、次世代の育成を図る。

<主な事業>

事業	内容
こどもドリーム・アカデミー（再掲）	地域の多彩な子どもの芸術文化活動や一流音楽家による小学校での出前コンサートを支援
県青少年美術展開催補助（再掲）	青少年（中学生から 25 歳まで）を対象とした公募美術展の開催に対する補助
県こどもフェスティバル開催補助（再掲）	児童文化活動者（団体）や子どもの創作活動を発表するフェスティバルへの補助
青少年音楽コンクール開催補助（再掲）	青少年を対象とした音楽コンクールの開催に対する補助
芸術文化を担う人づくりアドバイザー事業（再掲）	専門家（芸術文化アドバイザー）を学校や地域に派遣し子どもや指導者への助言・指導

## 2 質の高い文化の創造と世界への発信

### (1) アジアを代表する舞台芸術の拠点づくり

- 優れた舞台芸術の創造と人材の拠点づくりを進め、富山が世界の文化の交流拠点となるよう努め、富山で創造された新たな文化を世界へ発信する。
- 「舞台芸術特区 TOGA」の世界に誇ることのできる舞台芸術の専用空間を活用した世界最高水準の舞台芸術の創造と文化交流事業を推進し、利賀をアジアを代表する舞台芸術の拠点とする。

#### ア 演劇の聖地にふさわしい舞台芸術空間づくり

- ・利賀芸術公園を「舞台芸術特区 TOGA」として、世界的に評価の高い合掌造り劇場に係る規制緩和を進め、世界に誇れる舞台芸術の専門空間づくりを推進する。

##### <主な事業>

事業	内容
利賀芸術公園管理運営事業	利賀芸術公園の管理運営

#### イ 世界演劇祭の開催などによる舞台芸術の発信

- ・利賀サマーシーズン、BeSeTo 演劇祭などを開催し、富山から世界一流の質の高い舞台芸術を発信する。

##### <主な事業>

事業	内容
利賀サマーシーズン開催事業	利賀に拠点を置く劇団 S C O T による世界一流の舞台公演を開催し、中高生や県民向けの鑑賞会などを通じ、本物の舞台芸術に触れる機会を提供
アジア舞台芸術拠点形成事業	アジア諸国の舞台芸術機関との連携による、作品の共同制作及び上演

#### ウ アジア諸国の舞台芸術機関との連携による共同制作・人材育成事業の充実

- ・平成 23 年 3 月からの北京便の就航、平成 24 年 4 月からの台北便の就航等、富山空港の航空路線充実や、伏木富山港の日本海側の「総合的拠点港」選定により、環日本海・アジア地域の交流が活発化しており、文化芸術を通じた地域間連携を進めるため、アジアをはじめ世界各国との国際文化交流を積極的に推進する。

- ・利賀における、世界各国との交流や人材育成のこれまでの成果を活用し、利賀をアジアを代表する舞台芸術拠点として発展させる。
- ・アジア諸国の舞台芸術機関等との連携により、世界各国の演劇人による舞台芸術の祭典を開催し、アジアにおける舞台芸術のネットワーク形成を図る。
- ・アジア諸国の演劇人、俳優が参加した国際共同作品の制作と上演による世界最高水準の舞台芸術の創造活動を推進する。
- ・国際的な演劇コンクール「アジア演出家コンクール」を開催し、利賀を世界の演劇人の登竜門として定着させる。
- ・世界各国の演劇人・俳優が、俳優訓練法スズキ・トレーニング・メソッドを学ぶ「利賀演劇塾」の開催などの舞台芸術人材育成事業を推進する。
- ・富山大学等と連携し、アートマネジメント講座(ゼミ)を開講するなど、利賀インターンシップ事業を推進する。

<主な事業>

事業	内容
アジア演出家コンクール(仮称)	国際的な舞台芸術家の専門教育を行う人材育成事業として、演劇塾、コンクールなどを開催
アジア舞台芸術拠点形成事業	アジア諸国の舞台芸術機関との連携による、作品の共同制作及び上演
利賀舞台芸術創造・発信事業	利賀の優れた芸術環境を活用した利賀ならではの舞台芸術を創造・発信し、「演劇の利賀」を国内外に積極的にアピールする事業

(2) 特色ある国際的な文化振興事業の展開と発信

○地域における文化振興により世界との交流を推進し、友好と平和に貢献する。

ア 世界ポスタートリエンナーレトヤマなどの国際事業の開催

- ・日本で唯一の国際公募ポスター展である「世界ポスタートリエンナーレトヤマ」など世界へ向けて特色ある事業を開催する。
- ・文化活動拠点施設への芸術監督、プロデューサーの配置による運営と創造、発信を促進する。
- ・世界三大自然・野生生物映像祭の一つとされる世界自然・野生生物映像祭(JWF)の開催を支援する。

<主な事業>

事業	内容
とやま舞台芸術祭の開催	県内文化団体と国内外の団体との競演等による優れた舞台芸術の創造と交流事業を支援
世界ポスタートリエンナーレトヤマ開催	トリエンナーレ方式で行う国際ポスター展

世界自然・野生生物映像祭 (JWF)	世界自然・野生生物映像祭 (JWF) の開催支援及びPR
-----------------------	------------------------------

## イ とやま世界こども舞台芸術祭等芸術団体等による創造と発信の推進

- ・富山県芸術文化協会による演劇、舞踊、音楽、美術、生活文化分野でのハンガリー、チェコ、環日本海諸国との文化団体の交流を通じて、県内、地域の優れた文化を国内外に発信する事業を支援するとともに、これらの国々の優れた文化との交流により、新たな文化の創造、発展を促進する。
- ・世界各国、全国各地から多数の子どもたちが集い舞台公演を行う「とやま世界こども舞台芸術祭」の開催を支援し、多彩な舞台芸術の国内外への発信を図る。
- ・「とやま世界こども舞台芸術祭」では、プレイベントを県内各地で開催するなど、子どもたちの優れた舞台芸術の鑑賞の機会拡充に努めるほか、芸術研修やワークショップを行うことにより、子どもの創造性を陶冶するとともに、国際的な文化交流を通して、異文化理解と友好親善を図り、子どもたちの視野を世界へ広げる機会を創出する。
- ・全日本地域選抜モダンダンス・ガラやいなみ国際木彫刻キャンプなど、県民の意欲と熱意、地域の主体性と創意工夫によって開催される事業を支援するとともに、国民文化祭への参加を促進する。
- ・演劇、洋舞、吹奏楽、合唱など本県の優れた活動をリードする指導者に対する、チェコ、ハンガリーをはじめ国内外の優れた指導者による指導事業を充実し、さらに高いレベルの文化の創造と発信を図る。
- ・外国人芸術家を招聘し、富山に滞在しながら美術制作等を行う交流事業を支援する。

### <主な事業>

事業	内容
国際友好美術交流展開催	ハンガリー、中国、韓国等と4カ国で順に美術展を開催、平成21年度は富山県で開催
世界こども舞台芸術祭開催事業(再掲)	「とやま世界こども舞台芸術祭」の開催支援
日中友好交流事業補助(再掲)	芸術文化団体による国際交流事業
いなみ国際木彫刻キャンプ補助	国内外の木彫刻家による公開製作展示や交流事業に対する補助(4年ごとに開催)
芸術文化指導者招へい事業(再掲)	音楽分野・舞台芸術分野の第一人者による芸術文化団体の指導

### (3) 富山固有の文化の発掘と県民による再認識と発信

- 国内外に誇れる地域文化に県民が自信を持ち、できるだけ多くの県民がその発信の担い手となるよう努める。
- 景観づくりの主役である県民等とともに、都市や農村等の地域の個性を生かした景観形成施策を推進し、美しく魅力ある景観づくりを進める。

#### ア おわらなど貴重な伝統文化の発掘と発信

- ・富山県が有する特色のある歴史、伝統文化、伝統工芸、生活文化などについて、できるだけ多くの県民の理解を深め、再認識に努めるとともに、広く発信を進める。
- ・おわら、麦屋、こきりこ等全国に誇れる郷土芸能の発信を促進する。
- ・高岡の金工、漆芸、井波の木彫刻など、全国、世界で高く評価される優れた作品の創造、発信を促進する。また、世界遺産五箇山の合掌造り集落、砺波平野の散村など農村、山村、漁村、町並みに関する伝統文化の情報なども発信する。
- ・「勝興寺」、「善徳寺」をはじめとする国・県指定文化財の保存修理等を推進し、富山固有の質の高い文化遺産をさらに磨き上げるとともに、積極的な公開・活用、情報発信をとおした価値や魅力の再発見に努める。
- ・出町子供歌舞伎曳山（砺波市）など本県の伝統文化を象徴する文化遺産の継承・振興を支援する。
- ・インターネット等を活用した「とやま文化財百選」などのPRによる地域の再発見と文化財の普及を行うボランティアの育成を図る。
- ・江戸時代の農民生活、風俗文化に触れることができる国登録有形文化財である内山邸では、全国的にも希少な柳原文庫の復原やバリアフリー化を行うとともに、夜観桜の会、観月の会などを開催し、更なる魅力向上と発信に努める。
- ・内山邸の改修にあたっては、職藝学院と連携し、修繕工事に学生が参加することにより、文化財の伝統技能の伝承と人材育成を図る。

#### <主な事業>

事業	内容
ふるさと資源パワーアップ事業	地域資源を活用した地域の魅力発信や交流人口の拡大等につながる取組みを支援
県・国指定文化財保存事業	国・県指定文化財の保存修理、環境整備に対する補助
小杉丸山遺跡管理運営費	国指定史跡小杉丸山遺跡公園の管理運営
埋蔵文化財調査等補助	市町村が行う埋蔵文化財調査に対する補助
埋蔵文化財センター運営費	埋蔵文化財センターの管理運営に要する経費
埋蔵文化財センター事業費	埋蔵文化財センターの企画展等に要する経費
内山邸文化の魅力再生事業（再掲）	内山邸の計画的な保存修繕とともに魅力ある展示会の開催など魅力発信事業の実施

## イ 世界文化遺産登録をめざした取り組み

- ・近世都市が城下町から宗教都市、そして商工業都市へと転換が図られ、その3つの性格を併せ持つ、市民の力によって存続、発展してきた近世都市の代表例である「近世高岡の文化遺産群」の世界文化遺産の登録に向け、その構成資産の充実を図る。
- ・我が国を代表する江戸時代の浄土真宗伽藍を誇る国指定重要有形文化財「勝興寺」や、豪壮な土蔵造りの町並みである「山町筋」、国指定重要有形・無形民俗文化財「高岡御車山」などの保存修理を推進する。
- ・高岡鋳物発祥の地であり、「さまのこ」と呼ばれる格子戸や、袖壁、白漆喰壁の建物が軒を並べる美しい町並み「金屋町」の国重要伝統的建造物群保存地区の選定に向けての取り組みを進める。
- ・特に、開町以来400年にわたり、町民が守り伝えてきた文化遺産である高岡御車山祭の世界無形文化遺産登録の推進に取り組む。
- ・自然災害から暮らしを守り続けてきた人間の営為を刻む資産が集約的に存在し、いわば自然災害に対する防災大国日本のモデルとして、世界でも類稀な山と水の織りなす文化的景観が形成されている「立山・黒部」の世界文化遺産の登録に向け、その構成資産の充実を図る。
- ・過酷な条件のもと、一世紀にもわたって営々と続けられている「立山砂防」に関わる「白岩堰堤砂防施設」に続く新たな重要文化財指定に向けた調査研究を進める。
- ・立山砂防の技術が世界各地に伝播し、生命、財産を守り続けているという、顕著な普遍的な価値を国内外にアピールする。
- ・さらに立山砂防の世界的に顕著な普遍的価値として、「総合的水系管理技術の近代における到達点」、「極めて災害の多い国における顕著な実例」、「防災技術のひとつの典型」の3点について、検証を進める。
- ・豊かで美しくかつ極めて厳しい自然の中で、古来より神や仏の住む山として恐れ敬われてきた「立山信仰」に関わる山岳遺跡調査などを進め、国の史跡や重要文化財指定に向けて取り組む。
- ・峻険な峡谷の中に構築され、自然と調和した「黒部川の電源開発」に関わる発電施設群の調査を進め、国の史跡や重要文化財指定に向けて取り組む。
- ・「近世高岡の文化遺産群」、「立山・黒部」それぞれ、市民団体とも連携しながら、各種啓発活動やフォーラム、講演会、現地見学会の開催や支援を行う。

<主な事業>

事業	内容
世界遺産登録推進費	「立山・黒部」及び「近世高岡の文化遺産群」の世界遺産登録に向けた取り組みへの支援
県・国指定文化財保存事業	国・県指定文化財の保存修理、環境整備に対する補助
富山県立山・黒部山岳遺跡調査事業	立山・黒部地域における山岳信仰、砂防・発電等に関する遺跡等を調査し、世界遺産登録に向けた基礎資料とする。
近代砂防技術の世界的評価調査研究事業	近代砂防技術発祥の地としての立山砂防の世界史的・国際的な価値を裏付ける資料等の収集
世界遺産フォーラム開催事業	世界文化遺産「五箇山の合掌造集落」の保全・活用や、「立山・黒部」、「近世高岡」といった新たな世界文化遺産の登録推進に向け、本県が世界に誇る文化遺産の価値で魅力を全国にPRするためのフォーラムを開催
立山カルデラ魅力再発見事業	立山カルデラ砂防施設群の重要文化財指定の検討
ふるさと砂防・防災体験伝承事業（再掲）	立山カルデラ砂防体験学習会（トロッコ団体コース）及び安政大災害の伝承活動の実施

ウ 立山の自然や立山信仰の精神世界の紹介と魅力の発信

- ・立山の雄大な自然や古来から育まれた立山信仰の精神世界など、多面的な立山の姿について広く県民の理解を深めるとともに、広く国内外に紹介する。
- ・開館20周年を記念した県立美術館との連携による企画展の開催など、今後とも、より魅力ある企画展の開催に努める。
- ・収蔵・展示施設を増築し、加賀藩前田家の寄進とされる神輿や劔岳の民間人初登頂写真等の貴重な資料を展示し、山岳文化について広く情報発信するとともに、さらなる魅力の向上を図る。
- ・立山信仰の伝統文化であり、日本ユネスコ協会の「プロジェクト未来遺産」に登録された「布橋灌頂会」の開催を支援するとともに、現代の癒しの行事として全国に情報発信する。

<主な事業>

事業	内容
立山博物館管理運営事業	博物館の管理運営及び収蔵資料活用の検討等
立山博物館展覧会事業	企画展の開催等
立山博物館教育普及活動費	文化公演会の開催等
立山博物館資料収蔵・展示施設整備事業	立山信仰や山岳に関する貴重な資料の収蔵・展示施設の整備
立山連峰における氷河調査事業	日本で唯一の可能性が高い立山連峰内の氷河の調査及びPR等

エ 富山ゆかりのふるさと文学の振興と発信

- ・県民が、生まれ育ったふるさとの歴史や文化を再認識し、ふるさとに愛着や誇

りを持って、その良さを継承し、発展させていくため、富山ゆかりのふるさと文学の振興に努める。

- ・ふるさと文学振興の拠点となる「高志の国文学館」は、「ふるさと文学の総合窓口としての役割」、「気軽に楽しみ学ぶ機会の提供」、「深く調べる・発表する・創作への刺激ともなる場の提供」を基本理念として整備する。
- ・高志の国文学館では、あらゆる世代の県民に、越中万葉から近・現代までの小説、短歌、詩などの文学や、映画、マンガ、アニメなど、ふるさと文学の魅力を幅広く紹介する。
- ・高志の国文学館の運営にあたっては、ふるさと富山の風土と文化、歴史や先人の心などについて深い理解があり、富山県に愛着と誇りを持ち、全国的に活躍している有識者を館長、アドバイザーとし、高志の国文学館の企画運営の充実に努めるとともに、幅広い県民の協力・参加を得ながら、ふるさと文学の振興を図る。
- ・富山ゆかりの貴重なふるさと文学資料については、図書館や博物館などに収蔵されているほか、個人の努力で収集・保管されているものも多く、それらの散逸防止は喫緊の課題であり、高志の国文学館において収集、保管に努める。
- ・高志の国文学館に収集・保管した資料を企画展等で公開・展示し県民に広く紹介することにより、ふるさと文学への関心を高めるとともに、その魅力を幅広く発信する。

<主な事業>

事業	内容
高志の国文学館整備事業（再掲）	文学館工事、企画展準備など
高志の国文学館管理運営費（再掲）	高志の国文学館の管理運営
高志の国文学わくわく学楽・魅力推進事業（再掲）	ふるさと文学資料の散逸を防ぐとともに、県民がふるさと文学に親しみ、学ぶ機会の提供等の事業を実施

## オ 地域の個性を活かした景観づくり

- ・特に優れた景観を有する地域や新たに優れた景観を創造していく地域を指定し、景観づくりを重点的に進める。
- ・大規模な建築物等の建設や開発行為等を行う者に対して、地域の景観、伝統や文化に調和したものとなるよう誘導する。
- ・地域の景観、伝統や文化に調和した公共事業を実施するとともに、多自然川づくり、無電柱化等の推進によりうるおいのある景観づくりを進める。

- ・地域住民に親しまれ、優れた景観を形成している建造物や優れた景観を眺望できる場所を指定、保全することにより、多様で豊かな景観づくりを進める。
- ・砺波平野の散居景観など地域の誇りとなる景観を次世代へ守り伝えようとする住民の取組みを支援する。
- ・インターネット等を活用した「とやま文化財百選」の情報発信などによる富山の名所や優れた景観を全国に情報発信する。
- ・良好な景観、風致を阻害する屋外広告物について適正化を図るとともに、良質な屋外広告物の設置を誘導する。
- ・県民参加による景観づくりを進めるため、フォーラムの開催や景観アドバイザーの派遣のほか、眺望景観を守り育てる県民活動などに対する普及啓発・支援策の積極的な推進を図る。
- ・景観上、問題のある地域について、計画的に是正、誘導を図る。
- ・新幹線新駅周辺整備については、周辺との調和に配慮し、富山県の玄関口にふさわしい魅力ある景観づくりに努める。
- ・近年、県内各地で新品種のさくらが発見されるとともに、新たな桜の名所が整備されてきていることなどから、「富山さくらの名所」の見直しを行い、本県のさくらや名所を県内外にPRする。また、環水公園及び富岩運河周辺では、長期にわたりさくらが見られる名所づくりに取り組む。

<主な事業>

事業	内容
美しい景観づくり推進事業	景観づくりの普及啓発や、県民等の景観づくりに対する支援などに加え、県民の景観保全意識の高揚を図るため、「ふるさと眺望点」スタンプラリーや、眺望景観を守り育てる県民活動への支援を実施
水辺のまちづくり推進事業	水辺を活かした魅力あるまちづくり活動への補助等
散居景観保全事業	「散居景観を活かした地域づくり協定」が結ばれた地区に対する枝打ち費用等の補助
景観づくり重点地域支援事業	景観づくり重点地域における県民等が行う建築物の修景等に対する補助等
屋外広告物適正化推進事業	違反広告物に対する是正指導のためのモデル路線の選定・調査、許可基準等見直しに伴う既存不適格屋外広告物の早期改善への助成等
富山のさくら名所づくり事業	特色ある富山のさくらを活用した花と緑の地域づくりの推進と普及啓発

カ 富山の魅力を知る・学ぶ機会づくり

- ・県民や県外の多くの人々に、富山の伝統文化や新たな文化の隠れた魅力・うちくをはじめ、とやまの自然、文化、伝統、産業等の幅広い魅力を再発見して

もらう機会として、郷土を題材にした検定等の取組みを推進する。

- ・富山県の雄大で美しい自然の中で、質の高い学びと楽しみの場を提供することにより、自然、歴史文化、食など本県の様々な魅力を知るきっかけづくりとし、「とやま夏期大学」を開催する。
- ・本県の自然環境や歴史・文化等を活かし、県外の人々にも魅力的な質の高い学習講座を開催する。

<主な事業>

事業	内容
ふるさとの魅力再発見・PR事業（再掲）	県民自身が郷土の魅力を再発見・再認識し、県内外にその魅力をPRする気運の醸成
学び楽しむ「とやま夏期大学」開催事業	本県の雄大で美しい自然の中で、質の高い学びと楽しみの場を提供
ふるさと教育推進事業（再掲）	普及啓発のためのオーラムの開催、団体等の表彰
「ふるさとの歌」づくり事業（再掲）	ふるさと富山をテーマとし、子どもから大人まで幅広く愛唱できる「ふるさとの歌」（仮称）の制作・普及
散居景観保全事業（再掲）	「散居景観を活かした地域づくり協定」が結ばれた地区に対する枝打ち費用等の補助
散居村ミュージアム支援事業	となみ野の散居景観の保全・啓発を図る地域活動の拠点となるとなみ散居村ミュージアムの運営支援
高校生郷土史・日本史学習試行事業（再掲）	県立高校において、試作補助教材を用いて郷土史・日本史学習を試行するとともに、教師用「指導の手引き」を作成し、活用
高校生とやま英語表現ハンドブック作成活用事業（再掲）	高校生を、真の国際人に育てるため、とやまの文化、自然、観光や産業などを英語で表現する冊子を作成し、活用
ふるさと学びあい推進事業（再掲）	地域でふるさとの学びを推進する指導者を養成するセミナーを開催し、作成した教材により、「ふるさととやま発見教室」をモデル的に実施
「木曾義仲出世街道」再発見・再発信事業（再掲）	越中富山を舞台に活躍した義仲・巴を通して、ふるさとの魅力を再発見する事業を実施
立山カルデラ砂防体験学習会	立山カルデラの自然、歴史及び砂防事業について、実際に体験しながら理解を深める学習会の開催

キ 伝統文化・伝統芸能の後継者育成

- ・おわら、麦屋、こきりこ等全国に誇れる郷土芸能の継承を図るため、富山県民謡民舞連盟が行う公開事業等に支援を図る。
- ・高岡御車山祭、城端神明宮祭の曳山行事、魚津のタテモン行事など、全国に誇りうる祭りや行事が伝承されていることから、保存修理事業の支援をとおした後継者の保存意欲の向上に努める。
- ・小川寺の獅子舞、利賀の初午行事など本県ならではの伝統文化を継承するために、全国への情報発信などに努める。
- ・とやま文化財百選事業等をとおして、地域の魅力の再発見と普及啓発にあたる

ボランティアへの支援等を進める。

- ・伝統工芸品産業の振興を図るため、関係事業者や国・市町村とも連携し、後継者の育成や熟練技能者の技術・技法の承継を支援する。

<主な事業>

事業	内容
県・国指定文化財保存事業 (再掲)	国・県指定文化財の保存修理、環境整備に対する補助
伝統的工芸品ふれあい教室 開催事業費補助	小、中学生を対象とした伝統的工芸品の体験学習等の教室の開催に対する補助

(4) 情報通信等技術を活用した文化の創造と発信

- 新しい情報技術を積極的に利用し、映像その他の芸術文化情報のデジタル化、コンテンツ化を図り、それらの活用による文化の発信に努める。

ア バーチャルミュージアム、総合ポータルサイトによる情報の発信

- ・美術、動画、音楽など幅広い分野のコンテンツを収蔵するバーチャルミュージアムや、富山の芸術文化情報を総合的に発信する総合ポータルサイトの充実を推進する。
- ・県内にある多くの文化の創作物、遺産などのデジタル化、データベース化を進め、情報通信技術を活用して、一元的に提供できる体制を整える。
- ・本県の情報通信基盤を活用して、全国や世界に発信する映像などのソフトコンテンツの創作拠点づくりを推進する。
- ・県民の映像文化継承意識の高揚と映像ボランティアによる記録映像の集積を図る。(16ミリフィルムのDVD化及びその保存や活用を推進)
- ・映像フェスティバルや映像祭への参加の推奨と内容の充実を図るとともに、映像に親しむ人材(映像ボランティア)の育成と研修(講座)の充実を図る。

<主な事業>

事業	内容
文化財・環境地理情報システム(GIS)事業	埋蔵文化財包蔵地、指定文化財、国立公園等をデジタル地図上に表し、インターネットで配信する地理情報システムの運用
文化遺産オンライン(文化庁)への参加	国や地方の文化遺産情報を公開するインターネット上のポータルサイトへの参加
とやま映像祭の開催	県や県内放送局が制作、所蔵する富山の自然、文化等の映像を、文化ホールで放映

## イ 新しいメディア等を活用した文化の発信

- ・各種報道機関との連携強化により、文化の発信を促進する。
- ・インターネット等新しいメディアを活用したPRを促進するとともに、テレビ、ラジオ、CATV等との有機的な連携を図る。
- ・映像、音楽、アニメなどデジタル技術を活用した芸術作品の創造を促進するとともに、発表の場を確保するなどその発信を図る。
- ・顕彰により、県内の優れた活動を発掘するとともに、その活動が全国レベルの評価を受けられるよう積極的な発信に努める。
- ・優れた活動を行う文化団体を積極的に国内外へ派遣し、発信を図る。
- ・伝統を基盤とし、情報通信技術など新しいものを取り入れながら優れたものを創造する風土を発展させる。
- ・情報通信技術を県民自らが活用して、自然や歴史文化をいつでもどこでも学ぶことができる環境の整備を促進する。

### <主な事業>

事業	内容
県公立文化施設協議会による情報提供の実施（再掲）	県公立文化施設協議会によるインターネットを通じた情報提供の実施
美術館・博物館トータルネットワーク推進事業補助金（再掲）	県博物館協会を中心とした県内美術館博物館の連係及び情報化に対する補助
生涯学習情報提供ネットワーク（とやま学遊ネット）事業（再掲）	県民生涯学習カレッジ、県立図書館、市町村等をインターネットで結び、生涯学習情報を提供

### 3 文化と他分野の連携

#### (1) 文化振興と観光振興

○優れた文化、すばらしい魅力のある文化を多くの人に共感してもらい、人が交流する県とし、間近に迫る北陸新幹線の開業を大きなチャンスと捉え、観光との連携による文化振興と地域の活性化を図る。

#### ア 文化を活かした観光の振興

- ・北陸新幹線の開業を見据えて、富山ならではの文化資源を活かした魅力的な観光商品の開発などの観光地としての受入態勢の整備を図る。
- ・北陸新幹線開業後の来訪者の多様なニーズに応えるため、文化遺産、伝統芸能等の文化を活かした観光資源を発掘・活用し、旅行ニーズに応じた観光モデルコースを開発・PRするとともに、まちづくり等との連携による総合的な観光の振興を推進する。
- ・文化振興と観光振興の連携を図ることにより、地域文化の本当の魅力を伝える観光や、観光を活用した地域文化の発信を促進する。
- ・時代の新しい潮流を紹介する県立近代美術館、水墨画を系統的に展示する県水墨美術館、立山の自然と人間の関わりを紹介する立山博物館、越中万葉から現代に至る文学作品、映画、漫画、アニメーションなどのふるさと文学の魅力幅広く紹介する高志の国文学館をはじめとする本県の多彩で特色ある文化施設を新たな観光名所として活用し、文化振興とともに観光の活性化を推進する。
- ・富山空港の航空路線の充実や、伏木富山港の機能充実等により増加する外国人観光客に対応するため、美術館・博物館等の展示の多言語解説の充実を図る。
- ・地元観光関連事業者等が行う、富山ならではの文化に触れる・体験する観光商品・サービスを開発する取組みを支援し、魅力ある観光地づくりを推進する。
- ・おわら風の盆、世界遺産五箇山の合掌造り集落など、本県の代表的な観光資源のさらなる観光活用を図るために、地域のおもてなし環境を整備するとともに、交通アクセス、街並み整備など、観光客の受入基盤の整備をさらに促進する。
- ・出町子供歌舞伎曳山（砺波市）など全国的なアピールが可能でありながらそのポテンシャルが十分活かされていない文化資源について、富山ならではの観光資源として発掘し、ブラッシュアップを図るとともに、近隣の観光資源や他の文化資源との組み合わせにより新たな観光モデルコースの開発・PRに取り組むなど観光活用を図る。

- ・「富山県ロケーションオフィス」が県内の各フィルムコミッションと連携することによる県全域を対象とする映画等撮影の誘致、受入体制の充実により、本県を舞台とした映画やドラマ等の映像文化を通じた富山の魅力発信と地域イメージのブランド化の推進を図る。
- ・緑豊かな富山の農山漁村地域において、その自然・文化・人々との交流等を楽しみながらゆとりある休暇を過ごすグリーン・ツーリズム（滞在型の余暇活動）を推進する。
- ・外国の出版社と連携してガイドブックを作製するなど外国へのPRに取り組むほか、多言語表記・ピクトグラム（絵文字）によるパンフレット、サインの整備や外国語観光ボランティアの育成等受入態勢の整備を進める。
- ・伝統文化の観光への活用にあたっては、地域が一度に多くの観光客を受け入れることに限界もあることから、通年観光への転換や、地域の祭りを楽しむ部分と観光のすみ分け、域外の人への見せる場の確保などを検討する。
- ・行政、観光協会、商工団体、地域住民、関連事業者等との連携による、文化資源の保存と活用を連動させる持続的な仕組みを構築し、祭りを担う地域の人的負担を軽減し、用具等の補修技術者の確保、担い手の技術向上と技術文化を保持する人材のネットワーク化を図る。
- ・地域全体で観光客をおもてなしの心で迎えるためには、町並み景観を美しくし、生活文化や祭りなど豊かな暮らしを磨き上げることが必要であり、「とやま観光未来創造塾」において、魅力的な観光地域づくりをリードする人材育成に取り組む。

<主な事業>

事業	内容
高志の国文学館整備事業（再掲）	文学館工事、企画展準備など
松川べり水辺のまちづくり事業	城址公園や高志の国文学館など富山の歴史と文化が集積した地域の周遊性を高めるため、松川周辺地域を高志の国文学館のアプローチとしてふさわしい遊歩道として整備
ふるさと資源パワーアップ事業（再掲）	地域資源を活用した地域の魅力発信や交流人口の拡大等につながる取組みを支援
産業観光魅力創出促進事業	産業観光を実施する企業が行う観光客受け入れ態勢整備に関する経費に対する補助
国内メディア招へい事業	新聞・テレビ・雑誌等の編集者等を招へいし取材記事の掲載等と呼びかけることにより本県のパブリシティの強化を図る
とやまグリーン・ツーリズム・半定住推進事業	田舎暮らし体験を通じた二地域居住・定住促進のための「とやま帰農塾」の開講
とやま都市農山漁村交流活性化支援事業費	指定された重点地域における都市農山漁村交流活動等への支援

都市との交流地域ネットワーク連携事業	地域の交流・体験活動をネットワーク化し、都市住民の受入体制を強化する取組みに対する支援や、体験と宿泊がセットになったプランを提案
「木曾義仲出世街道」再発見・再発信事業（再掲）	越中富山を舞台に活躍した義仲・巴を通して、ふるさとの魅力を再発見する事業を実施
地域発観光サービス充実支援事業	地元観光関連事業者等の自主的な観光商品企画造成に対する支援
「富山で修学旅行！」誘致事業	旅行エージェント教育旅行担当者を招聘し、本県への修学旅行誘致を促進

## （２）文化を活かしたまちづくり・地域づくり

○地域における文化資源の再評価や有効活用等による、文化を通じた住民や来訪者との交流を推進し、各地域において幅広く、文化の力によるにぎわい創出に努める。

### ア 地域の文化資源を活かしたにぎわいづくりの促進

- ・越中万葉の歴史的遺産や、立山信仰など地域の文化資源を活かし、にぎわいづくりの工夫や知恵の交流による橋渡しを図り、各地が連携して進める文化による地域振興を支援し、集客力を高める。
- ・中心市街地の空き店舗を活用したギャラリーの設置や地元企業、大学、商工団体等が連携して進める文化を活かした中心市街地の賑わいづくりを支援する。
- ・中心商店街周辺の文化施設や史跡等の文化資源を活かした魅力あるまち歩きモデルコースを設定し、中心商店街への回遊性の向上を図る。
- ・地域の特性を活かした水辺のまちの賑わい創出と活性化を進める官民協働のまちづくりの活動を支援する。
- ・外国人住民を含めたすべての県民が互いの文化の違いや価値観を尊重し、ともに暮らしやすい地域づくりを推進する。
- ・地域で育まれてきた文化資源と、まちづくりの活動をコーディネートする人材の育成を図る。

#### <主な事業>

事業	内容
ふるさと資源パワーアップ事業（再掲）	地域資源を活用した地域の魅力発信や交流人口の拡大等につながる取組みを支援
「くらしたい国、富山」創造ネットワーク事業	本県への半定住促進に向けたとやま暮らし体験モデル事業の実施、専用ホームページの開設、首都圏等での全国フェア等への出展
ふるさとの魅力再発見・PR事業（再掲）	県民自身が郷土の魅力を再発見・再認識し、県内外にその魅力をPRする気運の醸成
とやまマガジンの発行	本県の魅力、「富山らしさ」などを掲載するPR誌を発行し、「くらしたい国・富山」の地域イメージを全国に発信

水辺のまちづくり推進事業	水辺を活かした魅力あるまちづくり活動への補助等
環水公園賑わい空間創出事業	環水公園を富山駅北地区や富岩運河と一体的な賑わいの空間とするためのイベントの実施等
まちの賑わい拠点創出事業	地域が有する有形無形の資源を活用し商店街でまちの賑わいを創出し商店街を活性化させる事業に対する補助
がんばる商店街支援事業	商店街における自ら考えた独自の総合的な活性化のためのプランの着実な取り組みに対する支援
まち歩きモデルコース設定事業	商店街のお店等をまわる「まち歩きチケット」や「まち歩きマップ」の作成等により、商店街や文化施設等を回遊するモデルコースを設定
地域文化力向上・活性化支援事業（再掲）	まちづくりに文化を生かし、賑わいを創出しようとする事業に対する補助
世界遺産登録推進費（再掲）	「立山・黒部」及び「近世高岡の文化遺産群」の世界遺産登録に向けた取り組みへの支援
立山カルデラ魅力再発見事業（再掲）	立山カルデラ砂防施設群の重要文化財指定の検討
多文化共生推進事業	外国人住民との交流イベントの開催や地域住民への多文化共生意識啓発のための講座の開催等

## イ 歴史と文化を活かしたまちづくりの推進

- ・歴史的建造物や街並み、伝統芸能をはじめとする歴史的・文化的な地域資源を活用した、地域づくりの取組みを積極的に支援し、地域の活性化を図る。
- ・地域に存在する歴史的な文化資源を活用して魅力向上に努める商店街を支援する。

○「歴史と文化が薫るまちづくり事業」モデル地域の事業実施状況

区分	まちづくりの姿	エリア
高岡市	ものづくり城下町を巡る	高岡古城公園～大仏～山町筋～金屋
魚津市	城、宿泊、交流をキーワードとしたまちづくり	戦国山城、米騒動の蔵、海の駅周辺
氷見市	氷見鯛とまんがに薫るまち	海鮮館～からくり時計周辺
黒部市	日本で一番海に近い名水と漁業のまちの原風景がコラボレートするまち	生地地域
南砺市	歩いて発見！小粋なニッポン	城端地域
富山市	八尾の魅力を活かした回遊性向上による観光まちづくり	越中八尾駅から、八尾旧町の地域
砺波市	砺波散居村の『風』を感じるまちづくり	「梅檀野エリア」、「市街地周辺エリア」、「散居村エリア」
小矢部市	木曾義仲と巴・葵の伝説が息づくまちづくり	俱利伽羅地域
滑川市	灯りがつなぐ町と街道	魚躬から中川原にかけての旧北陸街道沿い及び晒屋通り周辺一帯
上市町	神々が住む山里の四季に触れるまちづくり	大岩山日石寺を中心としたその周辺全て
朝日町	木曾義仲と宮崎太郎の「夢」を受け継ぐまちづくり	境、宮崎、笹川、泊、南保地区の中山間地域

<主な事業>

事業	内容
歴史と文化が薫るまちづくり事業	市町村や地域住民、各種団体などが一体となって取り組む、地域資源を十分活用したまちづくりを積極的に支援
歴史と文化が薫る商店街モデル事業	地域に存在する歴史的、文化的資源を活用して行う商店街活性化事業を支援
「木曾義仲出世街道」再発見・再発信事業	越中富山を舞台に活躍した義仲・巴を通して、ふるさとの魅力を再発見する事業を実施

ウ ふるさと文学の振興とまちづくり

- ・整備を進めている高志の国文学館は、観光目的で来県した人も興味を示すとともに、誰もが気軽に立ち寄ることができるような魅力ある展示内容・空間とする。
- ・高志の国文学館周辺の松川べりの遊歩道に越中万葉の歌碑などを整備し城址公園、松川べりの彫刻、舟橋などの文化的資源と回遊性を持たせ、多くの誘客を図る。

<主な事業>

事業	内容
高志の国文学館整備事業（再掲）	文学館工事、企画展準備など
松川べり水辺のまちづくり事業（再掲）	城址公園や高志の国文学館など富山の歴史と文化が集積した地域の周遊性を高めるため、松川周辺地域を文学館へのアプローチとしてふさわしい遊歩道として整備
高志の国文学わくわく学楽魅力推進事業（再掲）	ふるさと文学資料の散逸を防ぐとともに、県民がふるさと文学に親しみ、学ぶ機会の提供等の事業を実施
文化と他分野の連携推進事業（再掲）	文化活動と、観光・まちづくり等他分野の活動とのマッチングを行い、より魅力ある地域活性化活動を促進

(3) とやまの食の魅力のアピール

- とやま型「地域ブランド」戦略の一環として、本県の雄大で美しい自然環境、多彩な伝統、文化等に育まれた「とやまの食」の魅力をブラッシュアップするとともに、国の内外に情報発信する。

## ア 食文化の魅力を全国に発信

- ・新鮮でおいしい魚をはじめとする「とやまの食」の魅力を全国に発信するとともに、県外から富山に呼び込む多彩な取組みを戦略的に展開するなど、「食のとやまブランド」の確立を図る。
- ・北陸新幹線の開業に向け、首都圏において、「とやまの食とチューリップ」を中心としたイベント及びキャンペーンを実施し、県産食材の首都圏での販路拡大を促進する。
- ・海・野・山の変化に富んだ標高差4千メートルの自然に育まれたブリ、シロエビ、ホタルイカ、カニ、コシヒカリ、とやま牛、とやまポーク、りんごなど全国に誇る素晴らしい食材と、かつて北前船でにぎわった北海道との物資交流の拠点などとして形成された彩り豊かな食文化の伝統を活かした「越中料理」を継承、創作し、全国ブランドへの育成を図る。
- ・全国的に著名な料理人とのタイアップにより、県産食材を活用した新メニュー開発に努め、新たなとやまの食文化を発信する。
- ・富山の食材を活用し、富山の伝統を活かした「越中料理」の継承・創作に取り組むとともに、その魅力を体験してもらうため、モニターツアーや各種キャンペーンの実施等によりその普及・PRを図る。
- ・トレンド情報の発信地東京で、飲食店、量販店等と連携し、ホタルイカ、シロエビやゲンゲなど県産食材を使ったオリジナル料理を提供するとともに、富山県推奨とやまブランドのPRに努め、季節に応じた富山の食の魅力を全国に発信する。
- ・県内外の飲食店や鮮魚店等と連携した「うまさ一番 富山のさかなキャンペーン」の展開などにより、「富山のさかな」のブランド化を推進する。
- ・富山ならではの新鮮で多彩な食材や、ますずしやかまぼこ、昆布メなど独自の食文化の魅力を深く体験できる県内の資源を選定し、「とやま食の街道」として全国に発信する。
- ・「とやま食の匠」の認定と活動を支援し、県産の豊かな食材を活用した伝統的な食文化の継承に取り組む。
- ・県内の宿泊・滞在を促進するため、富山湾鮭など、宿泊しないと味わえない「食」を主要な観光資源として位置づけ、戦略的情報発信を行い、観光誘客を促進する。

<主な事業>

事業	内容
美食探求「越中料理」推進事業	「富山ならではの食（越中料理）」の魅力を広く県内外に発信するためPR等を実施
「越中とやま食の王国」づくり事業	「越中とやま食の王国」ホームページの運営、首都圏・中京圏でのアンテナ店舗の展開、民間企業等との連携、「とやま食の街道」の改定、「越中とやま食の王国フェスタ」の開催などによる「食のとやまブランド」の発信
とやま食育運動推進事業	県食育推進計画に基づき、食育推進会議、食育推進フォーラムの開催、食育リーダーの育成・派遣、「とやま食材ふれあい講座」への支援、富山型食生活メニューの普及・PR等
「美味しい富山」誘客促進事業	富山の「食」の魅力の紹介と、冬季を中心とした「富山湾鮭」を活用した「食」を楽しむ富山旅行を提案し、県内滞在・宿泊につなげるもの

(4) 文化を活かした産業の振興

- 文化の力を高め有効に活かすことにより、多くの人に受け入れられる商品、産業の創出を推進し、地域経済への貢献や交流人口の増大を図る。
- 最先端のものづくり文化を次世代に継承する。

ア 文化を活かした産業の振興

- ・文化を活かした地場産業や創意工夫を学ぶセミナー・交流会等の開催により、伝統産業やデザイン産業など文化に関連する産業の振興を図る。
- ・デザイン展の開催支援等により、県民や企業が多様で魅力的なデザインに触れる機会を提供し、デザイン意識の啓発に取り組む。
- ・県総合デザインセンターを中心とした商品の共同研究・開発や、大学、産業支援機関、各種団体等との連携の強化により、商品企画開発から販路開拓まで、総合的に支援する。
- ・おすそわけ文化をコンセプトに、統一的なデザインによる消費者の共感を呼ぶ魅力あるお土産商品づくりに取り組む。

<主な事業>

事業	内容
富山くすりフェア開催事業補助	富山のくすりのイメージを高め、魅力ある本県薬業を広く紹介する「富山くすりフェア」の開催に対する補助
産業デザイン経営塾支援事業	富山大学芸術文化学部が開講する「富山県デザイン経営塾」のセミナーや商品開発のためのワークショップ等に対する支援
県内デザイン展の開催補助	県デザイン展、デザインウェーブ等に対する補助
富山県総合デザインセンターの運営	総合デザインセンター（デザイン工房、モックアップ工房、図書室等）の運営
伝統的工芸品産業支援補助	国指定伝統的工芸品の産地組合等が行う後継者育成、意匠開発事業等に対する補助

全国伝統的工芸品展開催負担金	全国伝統的工芸品展で本県の伝統的工芸品のPR
「富山県推奨とやまブランド」推進事業	特に優れた県産品を「富山県推奨とやまブランド」として認定する等、ブランドの育成を支援
富山プロダクツ選定事業	県内で企画または製造されたデザイン性・機能性に優れた工業製品を「富山プロダクツ」として選定
デザイン戦略サポート事業	県内企業の魅力的な商品開発・販路拡大を総合的に支援
越中富山お土産プロジェクト事業	本県の多様な資源のデザインを活用して統一感を持たせた「商品群」として全国へ発信し、県内や首都圏でプロジェクトの紹介や製品のPR
デザイン振興推進事業	(株)富山県産業高度化センターにデザイン振興推進員を設置し、富山プロダクツ選定商品等を(株)富山県産業高度化センター展示室に展示
伝統工芸とやまブランド力向上支援事業	現代のニーズに合ったデザイン性を備えた新商品開発など、産地の課題に対応したセミナーを開催

## イ 最先端のものづくり文化の創造

- ・三百年を超えるくすりの伝統と電子・微細加工の技術を融合し、バイオ関連の新産業を育成するため、「ほくりく健康創造クラスター」事業など産学官共同プロジェクトによる研究開発を推進する。
- ・バイオ、ロボット、深層水、環境、エネルギー等の新商品、新事業創出のための産学官共同研究開発や企業の独自技術の開発やデザインを活用した魅力的な商品開発を支援する。
- ・ナノテクノロジーコア技術の創成や国内外の研究者を交えた研究会の開催など、ナノテクノロジーに関する研究開発を推進する。
- ・科学技術振興機構の戦略的創造研究事業（ERATO）に採択された「浅野酵素活性分子プロジェクト」事業の推進など微生物や酵素を用いた環境負荷の少ない工業化学技術（ホワイトバイオテクノロジー）の開発に努める。
- ・航空機関連産業のネットワーク化の推進と認証制度取得の支援を通じた航空機産業への参入を促進する。
- ・高校生や大学生などに対して、大学、試験研究機関及び企業の研究者や経営者が最新技術や自らの経験を紹介するなど、将来のものづくり産業を担う人材の芽を育てるように努める。
- ・団塊の世代の大量退職に対応し、ものづくりを支える技能を継承するため、後継者の育成や技術・技法の伝承・発展等への支援を行う。
- ・高齢化の進展や新興国の経済成長、医療技術・バイオ技術等の進歩等により医薬品や医療機器等の世界市場は、今後も高い成長が見込まれることから、国の成長戦略においても戦略分野の一つとしてライフイノベーションを位置づけ、

医薬品や医療機器などの開発・実用化を推進することとしている。富山県においては、機械、電子機器、金属、プラスチックなど幅広い分野の高い技術力を活用し、医療・福祉現場や製薬企業のニーズを取り入れ、新たな医療・福祉機器や医薬品製造機械などの開発を促進する。

- ・平成23年4月、富山県の“ものづくり産業振興の拠点”として、10m法電波暗室や精密加工機械など最先端の設備や、共同研究を実施する「プロジェクトスペース」や「企業スペース」を備えた富山県ものづくり研究開発センターが整備された。これら新設の設備・施設の活用ならびに既設の富山県工業技術センターのポテンシャルとの連携を図り、異業種融合による革新技术の創出や新製品開発、優れたものづくり人材の育成に取り組む。
- ・富山のものづくり文化を着実に継承し、さらに発展させていくため、高度な技術開発により県内「ものづくり」の活性化に寄与した企業を顕彰し、ものづくり機運の一層の醸成を図る。
- ・富山のものづくり文化の伝統を明らかにし、広く発信するとともに、小さな頃からものづくりを体験し、興味を持つための事業を展開するなど、子どもから大人まで県民各層がものづくりの楽しさ・大切さを理解するとともにその技術や伝統に誇りと敬意をもつ社会を形成し、ものづくりを担う人材の確保とものづくり文化の継承を図る。
- ・国内外に誇ることのできる県産品の中から特に優れたものとして認定された「富山県推奨とやまブランド」をはじめ、富山県を代表する優れた商品・サービスの魅力を国内外に発信し、知名度の向上や販路拡大を支援することにより、当該県産品のブランド力を高めるとともに、富山のイメージアップを図る。
- ・アルミ、ファスナーや癒し系ロボットの製造等、本県の特色ある産業を産業観光に活用し、本県の伝統あるものづくり文化を国の内外に発信する。
- ・伝統工芸の保存・継承を図るため、現代の消費者のニーズに合った新商品やデザインの研究に取り組み、優れた技術・技法に裏打ちされた伝統的工芸品の開発を支援する。
- ・高岡市の「ものづくり・デザイン人材育成特区」の認定を契機に、県内各地で子どもによる伝統産業・地場産業の現場体験、実技体験などを進め、伝統を支えてきた先人の技と心意気を次世代に引き継いでいく。
- ・技能検定の普及拡大、優れた技能者の顕彰制度の推進や技能競技大会への技能者の派遣等による、ものづくり技能を尊重する気運の醸成や、ものづくり研究開発センターの最先端設備を活用した長期間の技術講座の開催等ものづくりを担う人材の育成を促進する。

- ・ 県内の地場産業、伝統産業の地域ブランドを確立するとともに、蓄積された優れた技術を活かした新商品・新事業創出を促進するため、高等教育機関や公設試験研究機関、産業支援機関等が連携・協力を図り、技術や商品の研究開発、市場の開拓、人材の育成、低利融資や助成などの支援を、産学官が一体となって行う。

<主な事業>

事業	内容
ほくりく健康創造クラスター推進事業	産学官共同の研究開発による「ほくりく健康創造クラスター」の推進
深層水産業推進事業	富山湾深層水関連産業振興のため、基礎・利用研究の推進、利用企業の開拓、新商品の販路拡大への支援等を推進
とやま元気起業促進事業	県重点研究分野の新商品新事業創出のための産学官共同研究開発及び企業の独自技術の開発や、デザイン戦略による商品開発支援
産業デザイン経営塾支援事業（再掲）	富山大学芸術文化学部が開講する「富山県デザイン経営塾」のセミナーやワークショップ等に対する支援
地域産業活性化事業	中小企業者・組合等が行う新商品開発事業や組合等が行う販路開拓事業に対する補助
とやま起業未来塾事業	産業の活性化により活力ある県づくりを進めるため、起業、新分野進出を目指す若者、女性、熟年者等を育成する塾の開講
とやま技能継承塾事業	とやまの名匠等による若手技能者等を対象としたものづくり技能の実技指導の実施
ものづくり競技力向上支援事業	技能五輪等の技能競技全国大会に参加する企業等に対し、選手の強化や大会への派遣を支援

## 第6 とやま文化の夢構想

この計画では、目標年次を平成33年度に設定し、各施策を着実に展開していくこととしているが、計画期間（10年）よりもさらに長期的な展望に立ち、将来的には取り組むことが予想されるものや、技術革新の進展や具体化に向けた様々な条件整備等が行われれば実現できると考えられるものなど、県民の皆さんが将来への希望を持てるような、夢のある構想を描いていくことも重要である。

このため、20年から30年後における富山県の姿、県民の生活がどのように発展・充実しているかをイメージできるような、富山県の将来への飛躍につながる夢のあるストーリーを夢構想として提示する。

### <世界をリードする芸術拠点の形成>

- ・世界の演劇人から注目を集める演劇の聖地・利賀を核とした、グローバルな舞台芸術拠点の形成・発展
- ・「とやま世界こども舞台芸術祭」、美術や音楽に関する子どもたちの国際的な芸術祭の開催などを通じた、世界の子どもが集う芸術文化拠点の形成
- ・世界5大陸から若手美術家が富山県に集い、一定期間滞在し、富山県の文化や風土を背景に創作活動・美術展を行う、「とやま世界青少年アートキャンプ」の開催

### <とやま文化の世界展開>

- ・デザイン性に優れた富山の伝統工芸ブランドの海外展開  
(デザイン交流のあるミラノ等に販売直営店が進出)
- ・富山発「クール・トヤマ」でアニメや漫画のコンテンツ作成拠点の形成  
(散居村を活用したアニメ・ヴィレッジの形成、東海北陸自動車道～能越自動車道沿い(南砺～氷見)におけるアニメツーリズムのメッカ形成)
- ・本県の風景などを最大限に活かした「とやままるごと映画村」「高志の国ウッド」構想による、国内外からの映画ロケの誘致推進
- ・富山バーチャルミュージアムの実施  
(富山の伝統芸能や自然風土、県内美術館の収蔵品等について、仮想空間の中で映像、音、においなどを臨場感をもって鑑賞、体験でき、国内外に広く発信)
- ・高志の国文学館における世界の文学館とのネットワーク化を通じた越中万葉をはじめ富山の文芸の世界への発信と交流の拡大

### <立山・黒部文化の発掘・発信>

- ・立山・黒部地域の世界遺産登録を契機とした世界的な観光スポット化
- ・布橋灌頂会、「宿坊」宿泊や立山山頂までの古道を巡る登山などの立山信仰の復活体験

- と組み合わせた、新たなパワースポット・立山の魅力発信
- ・かつて立山信仰を背景とした登山者で賑わっていた「旧立山温泉」の復元と、立山カルデラ、白岩堰堤を結びつけた、「天涯ツアー」など、新たな観光資源・防災学習資源としての活用

## 第7 文化振興のための体制づくり

### 1 多様な主体による連携・協働の仕組みづくり

県民主体の文化に関する鑑賞、参加、交流及び創造の機会を拡充するため、県民や芸術家、芸術文化団体、NPO、行政など地域社会を構成する各主体がそれぞれの役割を担い、連携・協働して事業を展開する。

#### ① 県の役割と県民等に期待する主な役割

- 【県】
  - ・県民が文化を鑑賞、創造、交流するための機会の確保
  - ・質の高い文化の創造、発信が行われるよう支援
  - ・観光、まちづくり、産業など他分野との連携を図る  
コーディネーター
- 【県民】
  - ・文化活動への幅広い参加、支援
- 【芸術文化団体】
  - ・学校・地域と連携した文化活動の推進
  - ・文化施設の企画運営への参加
- 【企業】
  - ・地域文化活動への支援、参加
- 【市町村】
  - ・地域文化活動の振興、支援
  - ・文化施設の拠点化の推進
- 【文化施設】
  - ・県民ニーズに配慮した運営

#### ② 各主体間の連携による取組み

##### 【鑑賞】

- ・県、市町村は、芸術文化団体、文化施設と連携し、県民が身近な場所で文化を鑑賞する機会の確保に努める。

##### 【参加】

- ・文化施設は、県民ニーズに配慮し、施設の企画運営への芸術文化団体、県民、企業の積極的な参加を促進する。
- ・企業も地域社会の一員として、地域の文化活動を支援するとともに、自らの経営資源を活かして文化活動の担い手として活動することを期待される。

##### 【交流】

- ・県は、文化施設や芸術文化団体の創意あふれる取組みや特色ある運営について、情報交換し、交流する機会を確保し、連携する取組みを支援する。
- ・県は、地域の文化がまちづくり、観光等への活用が図られるよう、芸術文化団体、企業等の連携のコーディネーターの役割を担う。

##### 【創造】

- ・県、市町村は、県民の主体性を尊重することを基本に、文化施設等での文化

活動が活発に行われるように支援する。

・芸術文化団体は、学校・地域と連携し、子どもたちや地域住民の文化活動を推進する。

## 2 多様な意見を反映する仕組みづくり

文化振興のための施策形成や事業実施に際しては、文化審議会や有識者並びに県民世論調査等により多様な意見の反映に努める。

- ・文化審議会において、文化事業の効果の把握に努め、各施策を評価し、事業計画に反映する。
- ・文化団体、文化施設から意見を随時聴取し、事業や施設の運営について、現地で状況の把握を行い、文化施設の運営や文化事業の評価に対する意見を集約する。

## 3 国や市町村等との連携体制の確立

### ① 国の文化政策との連携

文化庁等、国の文化政策に対して積極的に提言し、地域における特色ある文化施策を推進するとともに、国と協力して地域における文化振興に努める。

- ・ホームページや事業記録等の広報手段を通じて、国の内外に、県の文化施策や特筆する事業をアピールするとともに、国への提言や働きかけを積極的に行い、国等の地域における文化振興の支援施策に反映されるよう努める。

### ② 市町村との連携

市町村における文化事業、文化団体等についての市町村からの相談窓口となり、その文化施策と必要な連携、協力を行う。

- ・地域における文化事業への支援施策等に関する相談の機会を確保し、必要な場合、地域、施設、学校等に対して文化活動や施策の推進のための芸術文化に係る指導者、アドバイザー等を派遣する。

### ③ 県の各部局の連携、協力

県の各部局の文化に関わる事業の連携、協力を図り、県が地域における文化のコーディネーターとしての役割を担い得るよう努める。

本計画に基づき、県の文化施策を総合的に推進することとし、特に「文化と他分野の連携」については、複数の部局にまたがることから、十分連携を図り、総

合的な文化振興の推進を図る。

- ・ 県の各部局の文化に関する事業の連絡調整をあらかじめ十分行い、各事業の推進に当たり必要な連携、協力を努める。
- ・ 文化財の活用、学校教育における文化に関わる教科及び教科外での指導法の研究と教材化、総合学習における文化面での指導方法等について、教育委員会と協力して、学校との連携のための取組みと推進する仕組み作りの促進を図る。